

河合代介

オルガン・ワークショップ&ライブ

日本を代表する Hammond・プレイヤー 河合代介氏によるオルガン・ワークショップです。Hammond オルガンの特長を紹介しながら、オルガン演奏のイロハや独特の奏法について学びます。また氏に大きな影響を与えた ジミー・スミスのテクニックなども解説。さらに2部構成で、作曲家/編曲家としても活躍中の JAZZ ドラマー 大槻 “KALTA” 英宣氏との DUO によるライブを開催致します。(ライブは入替制)

2016.2.11 (木/祝日)

ワークショップ: 14:00 ~ 15:30

【参加費 2,000円(税込)】

ライブ: 開場 16:15 開演 16:30 (18:00 終了予定) 【参加費 2,000円(税込)】

【お得なワークショップ&ライブ通し券 3,000円(税込)】

会場: **トート音楽院 渋谷 セシヤトホール**

(お問合せ)

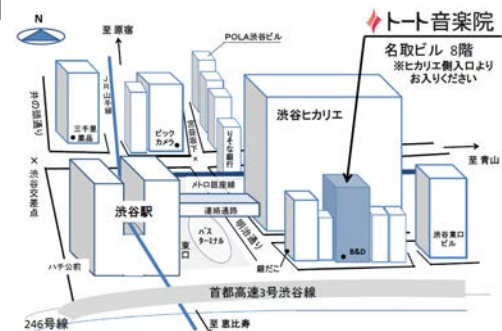
TEL: 03-3407-4100 URL: toth.co.jp

東京都渋谷区渋谷2-22-8 名取ビル8F

JR/東急/東京メトロ 渋谷駅東口より徒歩3分

■営業時間: [月~金] 10:00~21:30 [土・日] 10:00~19:00 [祝祭日] 休校

協力: 株式会社 Hammond・スズキ トート音楽院



河合代介 (かわい・だいすけ)
Hammond Organ

Hammond オルガン演奏家 / 1965年
7月23日 / 愛知県豊橋市生まれ

10歳より独学で Hammond オルガンをマスターする事を志す。89年スタジオミュージシャンとしてデビュー。多数のレコーディング、ライブ・セッションに参加。04年より約10年間、吉田美奈子と Hammond オルガンのデュオで好評を博した。98年よりジャズオルガンプレイヤーとしても活動を開始。日野皓正、渡辺香津美、増尾好秋、クリヤ・マコト他多数と競演。2003年より Tommy Campbell (ds) と「Organ-EYES Session Band」を始動。2005年には Blue Note New York に同セットで出演、好評を博す。現在は五輪 真弓バンドのバンドマスターとしても活躍中。



大槻 “KALTA” 英宣 (おおつき・かるた・ひでのぶ)
1970年生まれのドラマー/サウンドクリエイター。ドイツ系クォーターとして東京に生まれ、横浜で育つ。幼少期にはエレキギターとピアノを学び、10歳からドラムもプレイ。学生時代からプロとして活動を行なうようになり、数々のセッションに参加する。クリエイターとしては CM からゲーム用の音楽まで手掛け、J-POP シーンにも進出。2002年には島谷ひとみのヒット曲「亜麻色の髪の乙女」のアレンジを手掛け、高い評価を得た。

日本を代表するハモンドオルガンの名手 河合代介のスペシャルDUO

河合代介 The LIVE!

with 大槻“KALTA”英宣

Presented by 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

2016.2.11 (木・祝日)

開場16:15 開演16:30 (18:00終了予定)

予約制 ¥2,000(税込) 【定員になり次第締め切らせて頂きます】

会場 トート音楽院 渋谷 セシヤホール TEL06-6341-4639

予約お申込み <http://www.kakehashi-foundation.jp/>

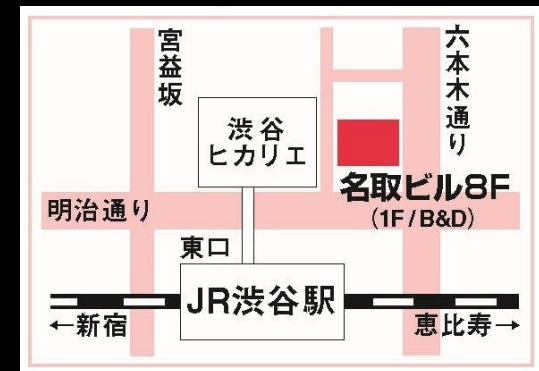
※河合代介オルガン・クリニック(16:00-17:30)との通し券(税込3,000円)も有ります。



河合 代介 (Hammond Organ)



大槻“KALTA”英宣 (Drums)



協力:株式会社ハモンド・スズキ トート音楽院